B21 某マンションにおけるチャタテムシの出現とその出現要因の推定

○武藤敦彦・吉村結子・新庄五朗(日環センター・環境生物)

Study on the occurrence factors of *Liposcelis* spp. occurred in some apartment houses.

Muto A., Yoshimura Y. and Shinjo G.

神奈川県下の某マンション(築2年)の和室でヒラタチャタテなどが畳(スタイロ畳)上に多数発生したとの報告を受け、その発生状況や住戸内環境の調査を行った。調査の結果、いずれも、畳下には畳1枚当たり1,000匹前後のチャタテが見られ、発生を訴えている住戸と訴えていない住戸間での差は認められなかった。住戸内の湿度や畳表の含水量は発生家屋の方が若干高い傾向がみられたが、湿度や含水量の高さと這い出し数増加の相関は実験的に確認できなかった。発生住戸では畳表に何度かカビが発生したとの住民のコメントから、カビの有無とヒラタチャタテの誘引性について実験したところ、カビを発生させた紙に多数のチャタテムシが這い上がることが観察されるなど、チャタテがカビに強く誘引されることが判明した。このことから、畳上へのチャタテの出現は、畳表のカビ発生が大きな要因ではないかと考えられた。

B22 我が国のヒトスジシマカに見られる *Ascogregarina* sp. の寄生状況とその寄生が宿主に与える影響について

○小林睦生、二瓶直子、佐々木年則 (国立感染研、昆虫医科学)

Prevalence of *Ascogregarina* sp. in *Aedes albopictus* in Japan and the physiological effects

Kobayashi M., Nihei N. and Sasaki T.

台湾のヒトスジシマカに *Ascogregarina taiwanensis* の寄生が報告され、我が国のヒトスジシマカにも同原虫の存在が予想されていた。埼玉、神奈川県のヒトスジシマカ幼虫を調べたところ、寄生が認められた終令幼虫では平均 39.2 ~209.2 の Trophozoites が中腸の囲食膜外スペースで見つかった。蛹ではマルピギー管(Mal管)に円形の Gametocysts が多数観察され、時間の経過とともに内部にレモン様の Oocysts ($10 \times 5 \mu\text{m}$) が多数認められた。成虫の Mal 管では多数の Oocysts が管全体を占めている像が観察され、一部の Oocysts は直腸にも存在していた。なお、羽化後約 30 日目のヒトスジシマカ雌雄のマルピギー管からも Oocysts が観察された。多数の Gametocysts が Mal 管に寄生した場合に管組織に損傷を与える可能性も考えられる。現在、ネッタイシマカにヒトスジシマカ由来の *Ascogregarina* sp. の感染が成立するか否かを調べている。